

令和6年度事業評価シート

担 当 課	雇用商工課
名 称	デジタルを活用した地域活性化プロジェクト
目 的	南房総市と連携し、市内中小企業者を対象とした啓発セミナーや経営診断、専門家による伴走型支援を実施するとともに、デジタルを活用した在宅ワークを希望する市民を対象としたスキル習得や就労支援を実施し、地域全体でデジタル人材の育成を図ることでデジタル化社会への対応と地域の活性化を目指す。
期 間	令和6年4月 ～ 令和7年3月

<事業に関する経費>

計画事業費	11,150,000 円	執行(実績)額	7,092,500 円
		交付金充当(相当)額	3,546,250 円

<総合戦略での位置づけ>

基本目標	“若者”の夢と希望をかなえる ～若者の元気アップ～
目指す方向性 (政策分野)	館山市の特性を活かした多様な「しごと」の創出
講ずべき施策	チャレンジする若い起業者・創業者への支援強化

<本事業における重要業績評価指標 (KPI) > ※南房総市分も含む

K P I		事業開始前 ※基準値	R 6 年度 (1年目)	R 7 年度 (2年目)	R 8 年度 (3年目)	合計
			目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値
			達成率	達成率	達成率	達成率
2	デジタル導入企業数 【単位：社】	0	12	16	20	48
			11			11
			91.7%	0.0%	0.0%	22.9%
3	デジタル人材スキル アップセミナー参加 者における就労者数 【単位：人】	0	18	21	24	63
			10			10
			55.6%	0.0%	0.0%	15.9%

令和6年度事業評価シート

～詳細事業1～

詳細事業名	市内事業者デジタル化支援事業
事業概要	市内事業者を対象としたデジタル化に関する啓発セミナーを実施する。デジタル化に伴う業務効率、経営改善といった事例を学び、導入機会を創出する。また事業者自身の企業診断を実施することで、現状を正確に把握し、必要に応じたシステム導入を促進する。参加事業者のうち6社に対して、デジタル化の伴走支援を実施し、成功モデルを創り出すもの。
期 間	令和6年4月 ～ 令和7年3月

<詳細事業に関する経費>

計画事業費	4,400,000 円	執行(実績)額	4,180,000 円
		交付金充当(相当)額	2,090,000 円

<事業内容>

・市内の中小企業の経営者及びDX推進責任者を対象に、物価高騰や深刻な人手不足などの課題を解決するために、デジタル技術の導入により業務の効率化、売上及び生産性の向上により事業収益・経営力の向上を目指すことを目的、啓発セミナー、経営診断(専門家による無料相談)、学習環境の提供、伴走支援(6社限定内館山市3社)を段階的に行い、デジタル技術の導入を支援した。

令和6年度南房総市及び館山市内事業者デジタル化支援事業

参加費 無 料

経営力アッププロジェクト

デジタルの利活用で売上拡大、業務効率化を実現するチャンス

南房総市及び館山市内の中小企業様限定で、デジタル化を推進するためのセミナー、研修を行います。また伴走支援では、デジタル化のエキスパートが専門のコンサルタントとして、経営者と作走しながらデジタル化の入門から自走運営できるまでを導き、売上拡大、業務効率化をサポート。デジタル経営を自社で推進するノウハウを提供します。

参加資格は「会社経営を良くしたい」という意欲のみ！
まずは「経営力アップセミナー」にご応募ください

STEP1 経営力アップセミナー 経営力アップに繋がる、0から始めるDX基礎 オンラインでも同時開催

参加するだけで、経営者の皆様の意識を改革
必ず経営がよくなるDXのノウハウ教えます！

内 容 世の中の動き、DXの考え方・必要性について

対象者 経営者・DX推進責任者(経営者の参加推奨)

■開催日時 令和6年8月5日(水) 13時30分～15時30分(受付開始13時00分)

■開催場所 館山商工会議所 2階大ホール(館山市八幡821)

五十嵐 啓行
株式会社フォーナビル
X経営センター
センター長

①なぜDXなのか
DXの基礎知識・
必要性を理解する

②事例
業種や地域特性に
合わせた事例紹介

③DXの進め方
正しい進め方を
身につける

STEP2 DX基礎研修 **内 容** デジタル化・DXを成功させる進め方 **対象者** セミナー参加者の中から希望者

■開催日時 令和6年8月21日(水) 13時30分～16時00分(受付開始13時00分)

■開催場所 館山商工会議所 2階大ホール(館山市八幡821)

STEP3 専門家による伴走支援 **支援期間** 令和6年10月～令和7年2月(予定)

内 容 デジタル化・DXの専門家から5ヵ月間の伴走支援で企業経営を支援

対象者 STEP1及びSTEP2の参加者の中から6社限定 ※希望者が多い場合は抽選となります。

特別講座

売上拡大×業務効率化セミナー

内 容 デジタルを活用した店舗経営の成功ノウハウ

対象者 STEP1に参加された事業者

■開催日時 令和6年8月28日(水) 13時30分～15時30分(受付開始13時00分)

■開催場所 館山商工会議所2階大ホール(館山市八幡821)

セミナー・研修参加特典

STEP1及びSTEP2にご参加いただいた企業様は以下の参加特典が受けれます。

- ・デジタル経営の専門家による無料相談(1社1回)
- ・DXの基礎知識を学べるe-learningサービスの受講(1社1名3ヵ月間)

※本事業の無料相談への参加は令和6年度館山市内事業者デジタル化トライアル補助金、南房総市市内事業者デジタル化トライアル補助金の申請要件となっております。

お車でお越しの方は、館山商工会議所及び公共駐車場(八幡海岸駐車場)をご利用ください。

デジタル化とは

N社(製造業)

課題

- ・紙ベースでのやりとりをデータ化したい。
- ・生産計画業務の属人化を解消したい。
- ・更に付加価値をつけていきたい。
- ・人材採用を強化したい。
- ・在庫数の正確な把握をしたい。

事例と効果

- ・受注システムの導入
- ・情報共有のデータ化
- ・取引先に選ばれ続ける企業となるための企業づくり
- ・求職者に選ばれ続ける企業となるための企業づくり
- ・データ化による人的ミス削減

T社(建設業)

課題

- ・HPやSNS活用をしたい。
- ・顧客の情報管理がしたい。
- ・見積案件の管理をしたい。

事例と効果

- ・HPの分析と対策
- ・顧客情報のデジタル管理
- ・見積作業の業務効率化(外部から社内へのアクセス連携構築)

S社(飲食業)

課題

- ・予約台帳の管理が複雑
- ・手打ちタイムカードを利用し、人件費管理も手作業で手間
- ・店舗ごとに使っているPOSが違うためデータ集計が大変
- ・スケジュール管理がホワイトボードで手作業が大変
- ・WEB広告を使っているが費用対効果がわからない
- ・顧客情報の収集・管理ができていない

事例と効果

- ・アプリを活用した顧客情報のデジタル化
- ・クラウドサービスを導入しコミュニケーションを円滑化
- ・ドキュメント作成システムを活用し業務をマニュアル化
- ・広告の費用対効果を可視化し、効果的な広告投資を実現

お問い合わせ先

●本事業に関する問い合わせ先はこちら

南房総市及び館山市経営力アッププロジェクト窓口

担当:江崎、伊藤(管理委託事業社:株式会社フォーナビル)

●市担当部署(その他、事業趣旨等に関するお問い合わせ)

- ・南房総市内の事業者の方
南房総市役所 商工観光部商工課
☎0470-33-1092 担当:石井
- ・館山市内の事業者の方
館山市役所 経済観光部雇用商工課
☎0470-22-3362 担当:小柴

☎0120-20-4086

<https://www.fna-bld.jp/seminar/mamibouzo-katei/>

・啓発セミナーでは、46社（市内14社）の事業者が参加し、㈱フォーバル、開発センター長及び五十嵐氏を講師に迎え、DXの基礎知識、必要性、DXの進め方等を学び、その後、16社（市内7社）の事業者に対して、専門家により経営診断を行った。経営診断後の結果により伴走支援を、6社のうち、市内事業者3社を選定し、デジタル化を推進した。

・成果発表会では、約50名が参加し、伴走支援を行った6社の取組について報告を受けた。課題を可視化することにより、業務の効率化や人材不足解消に繋がる取組となった。



R6.8.5 経営力アップセミナーの様子



R7.3.6 成果発表会の様子

<実績値等を踏まえた事業の評価>

B： 相当程度有効であった

【理由・説明】

・ KPI を達成することはできなかったが、専門家による経営診断を行うことにより、各事業者が抱えている課題を可視化することができた。伴走支援希望者には、その課題解決のための手法をアドバイスすることにより、効率のよい事業経営を行うための道筋ができた。

・ 成果発表会では、参加いただいた地元事業者や金融機関に対して、デジタル化に関する課題を認識し、意識の醸成を図ることができた。

<実績値等を踏まえた今後の方針>

事業の継続

【理由・説明】

・ DX を推進するためには、まず、DX 自体に興味を持ってもらうことが大切である。令和7年度では、館山商工会議所、市内金融機関との連携を強化し、地元事業者の掘り起こしを行い、多くの事業者が自走するための基礎を構築させていく。

<戦略の見直し等の必要性>

特になし

令和6年度事業評価シート

～詳細事業2～

詳細事業名	デジタル人材育成事業
事業概要	市民（20～40代女性をメインターゲット）を対象とした場所・時間を選ばない自由な働き方（デジタル在宅ワーク）を推進すべく、啓発及びデジタルスキル向上及び就労支援を目的としたセミナーを開催するもの。
期 間	令和6年4月 ～ 令和7年3月

＜詳細事業に関する経費＞

計画事業費	1,750,000 円	執行(実績)額	1,699,500 円
		交付金充当(相当)額	849,750 円

＜事業内容＞

・南房総地域内の事業者には、デジタル分野の地域を有する人材が不足している状況である。そのため、デジタルスキルの向上及び在宅ワークへの就労を支援し、デジタル人材不足解消に繋げるため、場所と時間にとらわれることのない「在宅ワーク」を学ぶ機会と就労機会を提供することにより、デジタルスキルの向上とデジタル人材の育成と就労支援を行った。



南房総市 館山市

在宅ワーク入門セミナー&スキルアップセミナー

オンライン&会場開催 参加費無料

「仕事も家族も大事にできる働き方」在宅ワークをはじめてみませんか？

子育て・介護などで在宅ワークでの就業を目指す方や、在宅ワークに興味がある、自宅での隙間時間で何かしてみたい方へ。在宅ワークの基本知識、資格や働き方、気を付けたいポイントやルールを解説します！

・在宅ワーク初心者でも実際の就業に結び付きやすいスキルやノウハウを習得！

・希望者は在宅ワーカーとして就業も可能！（一定のスキル要件、スキルテスト実施あり）

◆在宅ワーク入門セミナー（10:00～12:30）

9/10(水) 「在宅ワーク」ってどんなことしてるの？を解説在宅ワーカーにお話しいただきます。

◆在宅ワークスキルアップセミナー（10:00～12:30）

第1回 9/24(木) Googleを使いこなそう

第2回 10/8(金) コンタクトセンター業務講座

第3回 10/15(金) Office講座（Word）

第4回 10/29(金) Office講座（Excel）

第5回 11/12(金) 在宅ワーク就業セミナー&先輩ワーカーとの座談会

第6回 11/19(金) やってみよう！お仕事体験

場 所 ・在宅ワーク入門セミナー 館山市コミュニティセンター（館山市北島740-1）
・在宅ワークスキルアップセミナー 館山市コミュニティセンター外 ※開催日により会場が異なります。

定 員 最大30名（定員制）

参加対象 南房総市、館山市在住の子育て世代の女性を中心に、在宅ワークに興味のある方。特に在宅ワーク就業を実際に開始したい方

※スキルアップセミナー受講にあたっては、以下の受講条件があります。（入門セミナーは対象外）

・希望者は「在宅ワークスキルアップセミナー」を受講する必要がある（スキルアップセミナー受講後、スキルテストを実施）

・スキルアップセミナーを受講する参加者は「就業支援講座」を受講する

申込締切日 ◆在宅ワーク入門セミナー：9/9(月)16:00 ◆在宅ワークスキルアップセミナー：9/20(金)16:00

申込申し込み 方法：各回ごとに受付コードを郵送でお知らせ、フォームよりお申し込み頂くことが可能。（希望者のみお申し込みください）

申込問い合わせ 南房総市 館山市 就業支援課 就業支援課 就業支援課 就業支援課 就業支援課 就業支援課

TEL: 0476-3311000 (直通) TEL: 0476-3311000 (直通) TEL: 0476-3311000 (直通) TEL: 0476-3311000 (直通) TEL: 0476-3311000 (直通) TEL: 0476-3311000 (直通)

Mail: info@nankanshou.jp Mail: info@nankanshou.jp Mail: info@nankanshou.jp Mail: info@nankanshou.jp Mail: info@nankanshou.jp Mail: info@nankanshou.jp

※本 国産品 国産品 国産品 国産品 国産品 国産品

講座詳細

◆在宅ワーク入門セミナー

第1回：インターネットを使った働き方（在宅ワークとは）
第2回：在宅ワーク業務～就職在宅ワーカーも活用できるデジタルスキル（基礎）

◆在宅ワークスキルアップセミナー

第1回 Googleを使いこなそう

- ・基礎知識
- ・Googleドライブの作成
- ・Google検索を使いこなそう
- ・Gmail送信・受信メールの管理・スレッド機能・スレッド機能・スレッド機能・スレッド機能
- ・今日の課題

第2回 コンタクトセンター業務講座

- ・コンタクトセンターとは？
- ・電話応対の基礎
- ・コンタクトセンター業務の役割
- ・在宅ワークにおける注意

第3回 Office講座（Word）

- ・文書の作成
- ・文書の編集
- ・文書の保存
- ・文書の印刷

第4回 Office講座（Excel）

- ・データの作成
- ・データの編集
- ・データの保存
- ・データの印刷

第5回 在宅ワーク就業セミナー&先輩ワーカーとの座談会

- ・在宅ワーク就業セミナー
- ・在宅ワーク就業セミナー
- ・在宅ワーク就業セミナー
- ・在宅ワーク就業セミナー

第6回 やってみよう！お仕事体験

- ・在宅ワーク就業セミナー
- ・在宅ワーク就業セミナー
- ・在宅ワーク就業セミナー
- ・在宅ワーク就業セミナー

オンライン キャリアカウンセリングサポート

就業を希望される方には、就業支援を持ったキャリアコンサルタントとの相談、または、株式会社イマタスナの在宅ワーカーによる個別相談（1人1回40分）を提供。在宅ワークでの就業の方向性を決めるためのアドバイスをいたします。

・応募書類（履歴書）の作成アドバイス
・履歴書にどのようなお仕事があるか、どのような働き方が可能か
・履歴書にどのようなお仕事を求めているか
・履歴書にどのようなお仕事を求めているか

過去セミナー参加者の声

◆コンタクトセンター講座

「コンタクトセンター業務の役割や働き方について詳しく知ることができた。特に電話応対の基礎や、お客様の声にどう対応するかについて、実践的な知識が得られた。今後の就職活動に役立つと思う。」

◆コンタクトセンター講座

「講師の丁寧な指導のおかげで、Excelの基礎知識が身についた。特にデータの作成や編集について、実践的な知識が得られた。今後の就職活動に役立つと思う。」

◆Office講座

「今の仕事でもExcel、Wordを使用することが多いので、改めて基礎知識を学ぶことができた。特にデータの作成や編集について、実践的な知識が得られた。今後の就職活動に役立つと思う。」

現在在宅ワーカーの声

◆在宅ワーク就業セミナー

「在宅ワーク就業セミナーに参加して、在宅ワークのメリットやデメリットについて詳しく知ることができた。特に在宅ワークの働き方や、在宅ワークの求人について、実践的な知識が得られた。今後の就職活動に役立つと思う。」

◆在宅ワーク就業セミナー

「在宅ワーク就業セミナーに参加して、在宅ワークのメリットやデメリットについて詳しく知ることができた。特に在宅ワークの働き方や、在宅ワークの求人について、実践的な知識が得られた。今後の就職活動に役立つと思う。」

・在宅ワーク入門セミナーでは、37名（市内の方13名）が参加し、日本テレワーク協会の講師から「在宅ワークとは何か」等、基礎的なことを学習した。



・在宅ワークスキルアップセミナーは、(株)イマクリエの講師から在宅ワークに必要なワード、エクセル、パワーポイント等を学習した。(全6回すべて参加した方16名)



スキルアップセミナーの様子

<実績値等を踏まえた事業の評価>

B： 相当程度有効であった

【理由・説明】

当初、両市で入門セミナー参加者を15人、スキルアップ参加者を30名程度と想定していたが、想定を上回る参加者があり、在宅ワークの必要性を感じたところである。一方で、スキルアップセミナーの参加者の中にはパソコンのスキルが十分でなく、セミナー途中で挫折してしまう方もいた。スキルアップセミナー全参加者16名うち、就労までには繋がった人は10名おり、館山市内の方は5名いたことから、人材不足の解消に一定の効果はあったものとする。

<実績値等を踏まえた今後の方針>

事業の継続

【理由・説明】

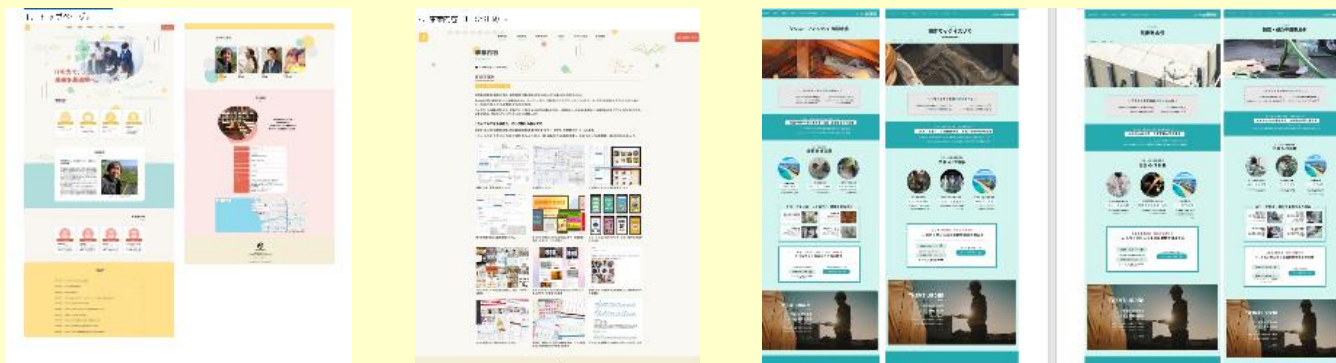
スキルアップセミナーの参加者からは、セミナーの内容が難しかったとの回答が多かったため、令和7年度では、南房総地域の実情にあったセミナーを実施して、就労に繋がる事業を実施する。また、委託事業者に頼らない、人材育成の仕組みを作り上げていく。

<戦略の見直し等の必要性>

特になし

【集客拡大支援事業】

- ・集客拡大に寄与するウェブサイトの製作費にかかる経費の一部を補助
- ・補助率2/3、最大25万円
- ・3事業者に補助
- ・業種 建設業、情報通信業、卸・小売業



＜実績値等を踏まえた事業の評価＞

C： ある程度有効であった

【理由・説明】

・目標交付件数10件には至らなかったが、補助を交付した4事業者からは、顧客数の増加や顧客満足度の向上が期待できるホームページを作成したことにより増収増益が見込めたり、生産管理、在庫管理、出荷管理システムや勤怠管理システムを導入することによって、業務の効率化を図ることが期待できるようになった。

＜実績値等を踏まえた今後の方針＞

事業の継続

【理由・説明】

・デジタル化支援事業のセミナー及び経営診断を受けた事業者が補助対象となるため、より多くの事業者の参加を促し、デジタルツールの導入を促進していく。

＜戦略の見直し等の必要性＞

特になし